

【普通科】 2年次 【選択】 科目 「地理B」授業のシラバス

1 概要

教科名	地理歴史	科目名	地理B	単位数	4（156）
科目の目標	①現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域について歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を身に付ける。 ②地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身に付ける。				
教科書（出版社）	新詳地理B（帝国書院） 地歴高等地図 現代社会とその歴史的背景（帝国書院）	副教材（出版社）	新詳 資料 地理の研究（帝国書院） センター試験地理対応 パワーアップ整理と演習（帝国書院）		

2 学習の方法

(1) 予習について

特に必要としませんが、少なくとも毎時間、教科書などを用意した最低限度の授業を受ける準備ができていることが求められます。その日の授業単元の部分について、教科書を音読し単元の流れをつかみ、準備を整えたうえで授業に出席して欲しいと考えます。特に地理は地域や国家の位置関係を正確に把握していることを前提として授業が進むので、地図帳等を用いて国の位置や、山脈や海洋等のおおよその位置関係を理解しておくことが授業理解の鍵といえるでしょう。

(2) 授業について

地歴公民科は授業で学習する情報量が他教科と比べると多い教科の一つといえます。したがって、復習との関係から必ずノートをつくる習慣を早期に身につけてください。小中学校までにノートをつくる習慣が身についている人でもなかなか大変ですが、ノートをつくりながら授業を聴くようにしてください。もちろん、教員が黒板に書く事柄（板書）だけではなく、教員が話したことで自分が「重要な」と思ったことは積極的にメモをとりましょう。ノートの取り方、書き方全般は自由としますが、年度初めの授業において、ノートのとりかたなどのガイダンスをする予定ですので、参考にしてください。

(3) 復習について

理想をいえば、その日学習したことはその日のうちに復習するということでしょう。しかし、国語、数学、英語など予習、復習をしなければならない科目がたくさんあります。地歴公民科では、一週間ごとにまとめて復習することを提案しています。地理Bは4単位ですので、四時間分について（教科書の4ページ～6ページ程度）一週間に授業が進みます。それを週末にノートにまとめをつくることで、授業の流れや重要な言葉を理解して欲しいと考えています。このようにして、できるだけ復習に時間をかけて欲しい理由は、復習しなければ、知識はもとより思考力、判断力が身につかないからです。進路先に関わらず、学んだことをその日のうちに復習することは重要であると認識してください。

〈学習アドバイス〉

時間と手間をかけずにものごとをマスターする方法はありません。じっくりと時間の許す限り何度も復習に取り組んでください。できれば、繰り返し勉強するための基礎的な問題集を1冊手元におき、勉強してほしいと思います。また、地域間や国家間の位置関係が理解できていないと理解が難しいので、地図帳を読む癖をつけましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとしているかを評価します。
② 思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的及び地誌的に考察したりして、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているかを評価します。
③ 資料活用・技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしているかを評価します。
④ 知識・理解	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けているかを評価します。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料		定期考査・確認テスト		小テスト	ノート	休業中のレポートなど	考査	ワークシート	授業の取り組み
観 点	割合								
① 関心・意欲・態度	25%		教科書教材の知識等に関わる問題、ノート・ワーク提出、夏季・冬季休業中のレポートなど		○	○			○
② 思考・判断・表現	25%	○	考査における4者択一・記述問題、小テスト夏季・冬季休業中などの調べ学習のレポート、ワークシートでの作業など	○		○	○	○	
③ 資料活用・技能	25%	○	考査における地図や資料の読みとり問題、夏季・冬季休業中などの調べ学習のレポート、ワークシートでの作業など			○	○	○	
④ 知識・理解	25%	○	教科書・ノート・教材の知識等に関わる問題など				○		

〈担当者からのメッセージ〉

伝えたいおおよその事柄については、このシラバスにおいて記載しましたので、じっくりと読み返していただきたいと思います。授業での疑問点や成績のこと、単位認定などの不明な点は、いつでも担当の教員に質問してください。それぞれの質問について個別に対応したいと考えています。1年間、一緒にがんばって勉強していきましょう。

【普通科】 2年次 【選択】 科目 「地理B」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	【さまざまな地図と地理的技能】 1章 地理情報と地図 1節 地図の発達 2節 地図の種類とその利用 3節 地理情報の地図化 2章 地図の活用と地域調査 1節 地図の活用	12	・地図の有用性に気付くとともに、時代背景や世界観の変化を考察する。 ・球体としての地球に生じる時差や気候のメカニズムを考察する。	① ③	地理情報と地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究することができる。 地図の活用と地域調査に関する諸資料を適切に収集し、その資料から有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめることができる。	・ノート ・ワーク ・小テスト ・ワークシート
5	2節 身近な地域の調査	16	・地形図の活用等を通じて地理的技能を身につける。			
6	【現代世界の系統地理的考察】 1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 世界の気候 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業	12	・世界の地形分布や特徴、成因について考察する。 ・世界の気候と人間生活や気候変動との関連を考察する。 ・日本の自然の特徴と自然災害との関連を考察する。 ・世界と日本の環境問題の原因対策等への関心を高める。 ・世界の農林水産業について、自然社会や社会条件と関連づけて課題を考察する。	④	世界の自然環境について、分布や人間生活との関わりとともに環境問題を理解し、その知識を身に付けることができる。	・前期中間 ・ノート ・ワーク ・小テスト ・ワークシート
7	2節 食料問題 3節 世界のエネルギー・資源	16	・食料問題の地域的偏りを国家間で比較し考察する。 ・世界のエネルギー、資源の種類や分布を理解する。	②	世界の資源、産業について分布や動向などを系統地理的に考察し、資源・エネルギー、食糧問題を大観し、その過程や結果を適切に表現することができる。	
8	4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第三次産業	8	・世界と日本が抱えるエネルギー問題を考察する。 ・工業の種類や立地とその変化について考察する。 ・第3次産業の特徴や発展の背景をとらえ考察する。			夏季休業課題
9	7節 世界を結ぶ交通・通信 8節 現代世界の貿易と経済圏	12	・世界を結ぶ交通、通信について種類や特徴を理解する。 ・国際分業の現状と課題を理解し考察する。			前期期末 ・ノート ・ワーク ・小テスト ・ワークシート
後期 10	3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題	20	・世界の人口について、その分布の特徴、動態、人口構成や転換を考察する。 ・途上国と先進国の課題と解決への取り組みを考察する。 ・村落と都市の機能が人間生活に与える影響を考察する。 ・世界と日本の都市、居住問題をそれぞれ考察する。	②	世界の人口、都市・村落について、分布や動向などを系統地理的に考察し、人口、居住・都市問題を大観させ、その過程や結果を適切に表現することができる。	
11	4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家	20	・世界の衣食住の地域的差異と画一化について考察する。 ・民族と宗教について言語との関わりも踏まえ考察する。 ・国家の領域や主権や国家間の課題を理解する。	①	世界の生活文化、民族・宗教に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究することができる。	後期中間 ・ノート ・ワーク ・小テスト ・ワークシート
12	4節 民族・領土問題 【現代世界の地誌的考察】 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 1節 地域の考察方法 2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	12	・民族、領土問題の原因と共生への取り組みを考察する。			
1	7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア	8	・諸地域の自然環境や歴史と文化、民族、農業や工業、現状と課題等を整理して考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	③ ④	現代世界の地域区分や諸地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめることができる。 現代世界の諸地域について、それらの地域にみられる地域的特色や地域の課題や、地誌的に考察する方法を理解し、その知識を身に付けることができる。	冬期休業 ・ノート ・ワーク ・小テスト ・ワークシート
2		12				学年末 ・ノート ・ワーク ・小テスト ・ワークシート
3	3章 現代世界と日本 2節 日本の抱える課題の追究	8 計156	・現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について多面的、多角的に考察する。	②	日本の国土について、その特色を多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	学年末レ ・ノート ・ワーク ・小テスト ・ワークシート

※ 観点別評価①は関心・意欲態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用の技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。